

第4回起草委員会提出（仮）起草文（案）

やすらぎと希望に満ちた平和な日々を送ることは、世界の人々の願いです。

しかし、いまでも世界のどこかで人間の命の尊さを踏みにじるような争いが続き、人類は、核兵器の脅威にさらされています。

原子爆弾による広島・長崎の痛みや悲しみが、二度と繰り返されることのないよう、私たちは、日本国憲法が掲げる平和理念に基づき、非核三原則を守り、非暴力と対話で、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続けなければなりません。

「戦争の悲惨さと平和や生命の尊さを、次代を担う子どもたちに伝えたい」

「ぼくたち、わたしたちも平和のためにできることをがんばります」

多くの市民から寄せられた『平和への思い』が、世界平和への希望の光となることを信じます。

1

私たちは、京田辺市の豊かな自然と先人が築いてこられた歴史や文化を大切に、互いに尊敬しあい、家庭から地域、地域から世界へと笑顔と思いやりの輪を広げながら、一人ひとりが平和の実現に向けて努力することを誓い、ここに京田辺市が非核平和都市として歩むことを宣言します。

2

木津川と甘南備山に囲まれた豊かな自然、先人の熱き心が育み築いてきた歴史や文化、そしてそこに息づく市民の笑顔。

私たち京田辺市民は、互いに尊敬しあい、家庭、地域から世界へと思いやりの輪を広げ、市民一人ひとりが平和の実現に向けて努力することを誓い、ここに京田辺市が非核平和都市として歩むことを宣言します。

3

木津川と甘南備山に包まれた豊かな自然、先人の熱き心が育み築いてきた歴史や文化、そしてそこに息づく市民の笑顔。

この京田辺市から世界へと思いやりの輪を広げ、市民一人ひとりが平和の実現に向けて努力することを誓い、ここに京田辺市が非核平和都市として歩むことを宣言します。